

令和2年度決算を認定

9月定例会では、令和2年度決算案件（一般会計、特別会計、企業会計）9件が提案されました。一般会計は、予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）、特別会計と企業会計は総務常任委員会及び建設経済厚生常任委員会において、3日間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり認定しました。

一般会計の決算額は、歳入317億964万5,980円、歳出306億8,599万1,888円、翌年度への繰越し3億4,134万3,000円を差し引いた実質収支額は6億8,231万1,092円の黒字となっています。

議案第66号 令和2年度加西市一般会計の決算認定について

◆ 質 疑（○印は要望、意見）

人口増対策

- 人口増対策事業に関して、対象者へのアンケート等を実施して実態を把握し、効果を検証していただきたい。

公共交通

- 市民により利用してもらえる公共交通の在り方を検討していただきたい。

危険空き家対策

- 問** 老朽化した空き家対策について。



答 倒壊の危険性が高い空き家情報があれば、すぐに現場確認し、所有者に解体撤去などの要請を通知しますが、相続などで所有者が定まらないものが多くある状況です。令和2年度は21件に通知し、1件が解体撤去となりました。

フレイル予防

- 問** 今後も自粛生活が続いた場合、身体能力の低下が考えられるが対策は。



答 フレイル予防については、不要不急ではないという啓発活動を行っており、これが浸透していけば、予防教室などが開催されるようになって考えています。

移動支援

- 福祉タクシー券や移送サービス事業など、高齢者や障害者の支援に関わる様々な移動に対する事業について、各制度が一見して分かるように周知を図るなど、それぞれのサービスがフルに活用してもらえるように工夫していただきたい。



生活困窮者支援

- 問** 生活困窮者自立支援の新規相談受付や就労者数などが伸びている要因について。

答 コロナ禍で収入が減った方や総合支援資金を希望する方に対し、関係機関との相談やハローワークへの同行、就労情報の提供など、支援員の積極的なサポートにより就労者数等が増加していると考えています。

還元ポイント事業

問 地域活性化キャッシュレス還元ポイント事業の効果について。



答 高齢の方のポイント利用も増えており、若い方だけでなく幅広い世代にキャッシュレス決済が広がっています。市内事業者のPayPay導入は350店舗を越え、他市と比べてもキャッシュレス決済が進んでいると考えています。引き続きPayPayも含め大手電子決済事業者と協力してキャッシュレス化を進めるとともに、市内での金の循環を一層推進するため、ねっぴ〜Payの導入など、より利用しやすい仕組みを広めます。

雇用対策

- 雇用対策事業に関し、加西インター産業団地に企業が進出してきているので、加西市で雇用してもらえような施策展開をお願いしたい。



ふるさと納税

問 事業費に対するふるさと納税の充当についての考え方は。

答 コロナ対策など緊急的、一時的な施策のために、ふるさと納税を基金に積み立てることは必要と考えます。しかし、出生状況や人口動態を鑑み、タイミングを逃すと成り立たない事業は、恒常的な事業であってもふるさと納税を活用すべきと考えています。

農業政策

問 安全な農産物を作り、供給する環境保全型農業の取組は、もっと広がっていくことが大事では。

答 SDGsの実現に向け、国も有機農業、安全な農産物の方向へ動いており、取組を推進していきます。

